

解答と解説

1 (A)

(12点)

[解答例1]

どんな分野であれ子供が成功を収めるのは、才能があるからだと考えられることが多い。その証拠もあるが、訓練の量や親の激励が成功要因になることもあるため、すべて才能に起因すると考えることはできない。(96字)

[解答例2]

何であれ子供がすぐに達成できるのは、持って生まれた才能があるからだといく多くの人は考え、その証拠もあるが、訓練の量や親の励ましが成功要因になることも多いため、天性のみで成功を収めるとは言えない。(95字)

[出典] Original Material

[全訳]

音楽、芸術、文学からスポーツ、数学、外国語学習にいたる様々な分野で、子供たちがどんな達成をするか、またどれほど容易に目標を達成するかについては差異があるように思われる。中には「無理なく」1つの活動に没頭し、見たところ大して努力もしていないのに、あきれられるほど上達が速い子供もいる。

一般に多くの人は、特定技能の分野で並外れた能力を発揮するかどうかは、通例「天性」とか「才能」と呼ばれる特性の有無によって決まると考えるものである。たとえば、生まれつき音楽的な才能を持つほんの一握りの集団に入っていない限り、子供が非常に優れた音楽家になるなどあり得ないだろうと考えるのである。

持って生まれた天性や才能が並外れた偉業をもたらすのだという考えを裏づけているように見える研究結果もある。ある言語学の研究によると、ある少年は生後5カ月で話しはじめ、3歳になるまでに5カ国語を話し、そのうち3カ国語は読むこともできたと言われていた。音楽の分野でも、多くの子供たちが、いわゆる「絶対音感」を持つことが知られている。彼らは個々の音の高さを言い当て、指定された高さの音をすぐさま正確に声に出し、音楽の音であろうとなかろうと、どんな音の高さでも言い当てることができる。しかし、訓練や練習が子供の能力に多大なる影響を与える可能性があることを示す事例もあり、一部の研究者によって、長期にわたる着実な練習の効果は一般に考えられているよりも影響力が大きいという結論も出ている。さらに、何かを成し遂げた子供は、もし親が熱心に、また長期にわたって練習する

よう励ましてくれなかったら上手になることはなかったと断言することも多い。天性もあるかもしれないが、それだけで素晴らしい成果を出せるとは言えないのである。

[設問解説]

2000年度以降、東大前期試験の要約問題は、いずれも300語以内のコンパクトな文章が用いられている。どれも論旨は明快であり、何を言っているのかわからないほど難解な内容でもなく、およそ述べられていることは一読して理解できるはずである。そのようなレベルの文章だと、読んで理解したことを「簡潔にまとめる」ことができるかどうか、すなわち、日本語の表現力で差がつくことが多い。

1. 全体の流れを網羅することを目指す。

全文要約問題の解答で最も注意しなければならないのは、「全体の流れを網羅した書き方」になっているかどうかである。部分をつまみ食いしたように見える答案や、勝手な解釈を加えたり、論理を飛躍させたように見える答案は絶対避けなければならない。また、東大の1(A)では、事の経緯を解説する「解説型の文章」ではなく、筆者の(場合によっては第三者の)意見や論点が盛り込まれた「論説型の文章」が使用される傾向にある。テーマと論点を見逃さないようにも注意しなければならない。

第1段落では、「多くの分野で子供の達成度やその達成の仕方に差がある」とことと「中には労せずして何かを成し遂げるように見える子供がいる」ことが述べられている。

第2段落では、「広く一般に考えられていること」として、「並外れたことができるのは持って生まれた才能がある」という考え方が紹介されている。第1文に‘widely believed’ とあることに注意。これは「一般的によくある考え方」を紹介するもので、筆者の意見ではない。第2文は音楽の分野を例として第1文を補強するものである。

第3段落では、天性や才能があるから成功するという考え方を「一見支えるように見える研究結果(findings)もある」と第1文で述べられている。第2文～第4文は、その例である。第1文で‘apparently」という副詞が使われていることに注意。これは「明らかに」ではなく「どうやら…らしい；一見すると…に見えるが」という意味であって、「そうではない可能性もある」という含みがある。したがって、ここまでの部分を論点の1つとして大きく取り上げると焦点がずれることになってしまうので軽く触れる程度でよいし、字数に余裕がなければ省いてもよい。やはり話の中心とすべきは、第5文の However 以下の部分で、

とりわけ最終文の「天性も存在するかもしれないが、それが高度な達成をもたらす唯一の決定要因ではない」というところである。第5文、第6文の「練習(の量)や親の強力な励ましも重要な要因である」という内容は 'not the sole determinant' を言うために必要な部分だと考えてよい。

以上の点から、全体の論旨は次のようにまとめることができる。

〈第1段落〉

多くの分野で容易に成功する子供がいる。

〈第2段落〉

これは一般には持って生まれた才能があるからだと考えられている。

〈第3段落〉

この考え方を裏づけるように見える研究結果〔証拠〕もある。



しかし、①練習が重要な要因だという結果もある。

さらに

②親の励ましがあるから成功できたという子供も多い。



(ゆえに) 天性だけが成功の唯一の決定要因ではない。

2. 具体例の扱いに注意する。

第2段落第2文 (It is thought, ...) の音楽の話、第3段落第2文 (According to one linguistic study ...) の言語習得の話、第3文 (In the field of music, ...) の絶対音感の話は、第1文の内容を補強するための具体例であり、解答の骨格にする部分ではない(字数に余裕があれば触れてもよい)。

3. 逆接表現に注意する。

逆接のあとに論点あり、とよく言われる。この文章のような「論説型」の文章では、それが当てはまることが多い。第3段落は全体的に第5文の However を境にして、「くたしかに Xだが、しかし、Yである」の流れができています。この順序を解答でも変えないこと。特にこの文章のように、逆接表現で流れが変わる場合には「Xだが、しかし、Yである」を「Yだが、しかし、Xである」とすると、焦点がずれることになり、話の大筋を表現していないものとみなされる可能性がある。これに限らず、要約問題では、元の文章と解答の文章で情報の順序を変えないようにするのが原則である(もちろん、根拠などは先に出しても後に加えても、意味は変わらない)。

採点基準の大筋は後ろに掲載している「採点講評」で説明されています。必ず確認するようにしてください。

1 (B)

(1) (c) (2) ウ (3) ア (4) オ
(各2点)

[出典] Jela De Franceschi: *NGOs Influence Change Around the World*
(問題作成のためのやむを得ない事情から、省略・改変した箇所があります)

[全訳]

¶1 非政府組織 (NGO) は世俗的な宣教師と呼ばれることがよくある。19世紀の宗教的慈善団体のように、現代の非営利あるいは非政府組織は、社会の中であまり恵まれていない人たちが抱えている人道的、社会的、教育的問題を軽減することに主に専念している。宗教に基づくものも多いが、ほとんどはそうではない。そうした組織は西洋文化の副産物と見なされることが多い。近年、非常に多くの NGO が世界各地で誕生してきた。専門家たちによれば、インドでは少なくとも100万の、ロシアには40万の NGO があり、ケニアでは今ではおよそ240の NGO が毎年作られている。

¶2 経済学者たちは NGO を「第3セクター」と呼ぶことが多く、政府や民間企業の活動と区別している。一部の先進国では、このセクターは何百万もの雇用と数十億ドルの経済活動を生み出している。たとえば、米国では推定200万の非営利組織 (NPO) が、全労働者の7パーセントから8パーセントにあたる1,100万以上の労働者を雇用し、600万以上のボランティアを動員している。

¶3 しかし、NGO の専門家たち、特にその中の一である米国平和研究所のパメラ・アールが目目しているのは、米国の多数の非営利組織が個人の自発性や社会的責任といったアメリカ人に深く根付いている価値観を反映したものだということである。彼女は、NGO の存在が市民社会の懐の深さと弾力性を保証しているのだと述べている。「NGO によって市民の声に耳が傾けられる。NGO によって市民は自らの社会の運用方法に責任を取り、組織化された方法で政府と対話できるのである。そして開かれたシステムにおいては、組織化された方法が、たとえとても困難な問題についても存在しているのである」とアールは言う。

¶4 非営利セクターの指導者の多くは、自らの組織が社会のきわめて重要な一部であることに同意している。

「(a)すばらしい社会を生み出すものは、よい政府であり、よい雇用が創出されるよいビジネス環境であり、そして、よいボランティア・セクターであると我々は考えている」とユニテッド・ウェイ・オブ・アメリカの会長であり、CEOでもあるブライアン・ギャラガーは述べている。同会は米国で最も古い民間ボランティア団体の1つで、1887年に2人の司祭とユダヤ教師によって創設された。「(b)地域社会において最も重大な、人間の問題が何であるかを特定するために、私たちは地元のボランティアや企業、宗教指導者たちと一緒に活動している。(c)その問題は教育である場合もあれば、安価な住居の不足の場合もあれば、10代の薬物中毒やアルコール中毒の場合もある」とギャラガーは述べている。「(d)そうした問題のいくつかでも軽減しようとする戦略を作り出すために、私たちは地域社会で様々な利害を持つ人たちとともに活動している。(e)私たちはお金を集め、そうした問題を扱うプロジェクトとプログラムに資金を拠出しているのである」

¶ 5 創設から1世紀以上の間、ユニテッド・ウェイは全国に1,300の支部を持ち、100万人のボランティアを動員し、年間の寄付金は40億ドルにのぼる組織に成長した。グローバル化の挑戦によって組織の活動方法が変わってきているとブライアン・ギャラガーは言う。「私たちは明らかに世界市場の一部である。だから私たちは政府が撤退したところにはもはや展開していない。私たちは新機軸を推し進めている。たとえば、私たちはかつて保護収容施設に資金を提供していた。現在では住居戦略と教育戦略を立てている」とギャラガーは述べている。他の多くの米国の大規模なNGOのように、ユニテッド・ウェイは世界中に活動領域を広げている。ロシア、中国、インド、ウガンダ、ブラジル、ハンガリーといった46の様々な国に3,000の支部がある。

¶ 6 (i)しかし、すべてのNGOの活動がそれほど高く評価されているわけではない。ボランティア団体は企業や大規模財団、裕福な個人から資金提供を受けていると批判されることが多い。後援者を喜ばすために、NGOはより広い公益に資するという使命から外れる場合があると批評家は論じる。

¶ 7 (iv)ワシントンにあるカトール協会のジャスティン・ローガンを含め、多くの政治学者たちは、このことはまた政府の補助金を受け取っているNGOにも当てはまると言っている。「近年、特にここ10年から15年、私に言わせるとNGOではなく、ある種の擬似政府組織の数が増えてきた。このことは、たとえば、ある組織が海外における米国の国益に反するならば、価値ある政治的目的でも進めるのかどうかについて、世界中の人たちの心の中に実際疑念を生じさせていると私は思う」

¶ 8 (ii)ローガンの主張によれば、民主主義を促進するために政府資金を受け取る団体は国の手先だとしれば非難を受けているとのことだ。「たとえば『開かれた社会』財団〔民主主義構築の民間基金〕の活動と他方、米政府の息がもつとかかっている一部の団体とは区別する必要がある。そして後者に関しては、そうした団体の目標と活動に関して明瞭さがいくぶん欠けているのは明らかだと思う」とローガンは述べている。

¶ 9 (iii)しかし、多くの専門家たちは、きちんと確立したNGOは政府よりも信頼されることがあると指摘している。たとえば、2000年にドイツで行われた世論調査によれば、相当数の回答者たちがドイツ政府よりも世界で最も有力な環境保護活動家団体の1つであるグリーンピースのほうを信頼していると答えた。そして、一部の識者が注目しているところでは、NGOは国際的な意思決定に対してほとんど影響力を持たないにもかかわらず、ヒューマン・ライツ・ウォッチやアムネスティ・インターナショナル、オックスファムのように、以前は国家だけが重要な役割を担った国際政策に影響を及ぼしているものもあるのである。

〔設問解説〕

(1) 余文指摘問題

「取り除いても大意に影響を与えない余分な文」とは、「具体例」または「言い換え」に相当する文のこと。したがって、(b)の文にある a community's most critical human issues を education, lack of affordable housing, teenage drug and alcohol abuse と具体的に述べた(c)の文が正解である。

(2) 適文補充問題

与えられた英文は「私たちは新機軸を推し進めている」という意味で、これは空所Aの直前の the challenges ... works. 「グローバル化の挑戦によって組織の活動方法が変わってきている」を言い換えたものである。空所ウとエに続く部分では、For instance, ... shelters. 「たとえば、私たちはかつて保護収容施設に資金を提供していた」、Now ... strategies. 「現在では住居戦略と教育戦略を立てている」とあるが、これは「組織の活動方法」の変化を示しており、まさしく「新機軸」を具体的に説明したものである。したがって、こうした具体例の直前である空所ウに入れるのが最適である。

(3) 段落補充問題

段落と段落とは、形式的には①接続語、②指示語、③同語・同義語・関連語によって、内容的には①対立

対比, ②解説・例示, ③添加・追加, ④原因・根拠という関係でつながっている。それぞれの段落の特に第1文と最終文に注目するとともに、全体の構成や展開も考える。「姓名(所属付き)→名だけ」, 「正式名称→略語」も前後確定の根拠となる。

まず(iv)第1文の Justin Logan of the Cato Institute と(ii)第1文の Logan に注目すると, (iv)→(ii)と判断がつく。

次に(iv)第1文の this が指すものを考えると, (iv)第1文にある NGOs that accept government grants と(i)第2文の they take money from businesses, large foundations and prosperous individuals が関連した表現であることから, (i)最終文の in order to please ... the broader public good を指すとわかる。ここで (i)→(iv)→(ii) が決まる。

But ではじまる(i)と(iii)だが, (i)は NGO に対して批判的な内容であるのに対して, (iii)は肯定的な内容である。(iv)と(ii)も批判的な内容なので, それと対立・対比の関係になるようにするには(iii)を最後におく。(i)→(iv)→(ii)→(iii)となり, 正解はAである。

4) 表題問題

表題は, ①キーワード(文章中の最頻出語)を含むもの, ②結論文を踏まえたもの, ③部分ではなく, 全体を表現したものでなくてはならない。

本文のキーワードは NGO で, 文章全体は NGO についての包括的な記述で, 結論文と呼べる一文はない。選択肢中, A「第3セクター」は第2段落に, I「ユニテッド・ウェイ」は第4, 5段落に述べられているが, それは部分的で, キーワードを含まないので不適切である。キーワードの NGO を含んでいるのはウ, エ, オである。

ウ「NGO対米国」だが, 米国に関わる言及は第3, 4, 5, 7段落にあるが, NGOと米国の対立構造で論が展開しているわけではないので不適切。

エ「NGOに対する批判的な見方」だが, NGOに対する批判は第6, 7, 8段落で述べられているものの, 第3, 4, 5, 最終段落では肯定的評価について述べられているので不適切である。

残るのはオ「NGOが世界中で変化に影響を及ぼす」である。第1段落では世界中で NGOが増加している事実が述べられ, 第2段落では NGOが先進国で公でも民でもない第3セクターの地位を得るという変化を引き起こしたこと, 第5段落では米国の代表的 NGOであるユニテッド・ウェイの活動内容の変化と世界展開について, 最終段落では NGOが時には政府より信頼を獲得し, 以前は国家が独占していた国際的な意

思決定に関わるようになってきたという変化について述べられている。したがって, オが正解である。

2 (A)

(16点)

[解答例1]

This student wants to study in the U.S., but his mother objects. She thinks the country is dangerous because everyone is allowed to possess a gun. His teacher advises him to try to persuade her that the U.S. isn't as dangerous as she thinks, and that studying there is essential if he wants to have a good command of English.

(60 words)

[解答例2]

The student has decided to study in America, but his mother won't allow him to. She believes America is full of danger because anyone there can possess a gun. His teacher suggests he try to persuade her the country isn't as dangerous as she believes, and that it is absolutely necessary to study abroad to learn English.

(57 words)

[解答例3]

This student would like to go to study in the U.S., but his mother is opposed; she believes living there is dangerous because people are permitted to own guns. His teacher says he should try to persuade her the country isn't so dangerous, and that he'll never improve his English if he doesn't study overseas.

(55 words)

[設問解説]

◇語数について

「50～60語」という語数指定なので, 当然この範囲で収まっていなければならない。しかし, 実際の入試で大量の答案を抱えた採点官がいちいち語数を数えているとも思えないので, 多少は大目に見る。ただ, できれば答案の最後に<○○ words>と書き添えるのが望ましい。それが採点官への「エチケット」である。

◇内容面のポイント

今回は設問文に「生徒の悩み, その母親の主張, 教師が与えたアドバイス, の三つの内容を盛り込んだ形

で」という指示があるので、よもやこの3つを盛り込んでいない答案は出ないだろう。ただし、「教師が与えたアドバイス」は2つあるため、実際のポイントは4つ。この4つを具体的に述べると、以下の通りになる。

(1) 「生徒の悩み」 = 「アメリカへ留学したいのだが、母親が反対している」

生徒の2番目のセリフ「でも、母がどうしても反対だって言うんです。どうすればいいでしょうか？」こそ、まさに生徒が抱えている悩みを述べた部分であるが、これだけでは母親が何を「反対している」のかがわからない。したがって、生徒の最初のセリフ「僕、アメリカへ留学したいんです」を含める必要がある。それに続く「将来のことを考えると英語は大事ですし、そのためには留学しかないと思って」は基本的に不要だが、語数が許せば加えてもよい。

(2) 「母親の主張」 = 「アメリカは誰でも銃が持てる国だから危険である」

生徒の3番目のセリフ「アメリカは誰でも銃が持てる国だから、危険だって」以外、相当する部分はない。先生の3番目のセリフ「きっとお母さんは新聞やテレビで報道される発砲事件を気にしているんだろう」は先生の推測にすぎず、「子供の身の上を心配しない親はいないからね」は母親の主張の正当性を先生が弁護しているだけであるから、いずれも「母親の主張」とは認められない。

(3) 「教師が与えたアドバイス」 = 「母親の説得を試みること」

① 「アメリカは母親が思っているほど危険ではない」

② 「英語に不自由しないためには留学が必要」

先生の最後のセリフにある「どうだろう、お母さんを説得してみたら？ アメリカはお母さんが思っているほど危ない所ではないし、それに英語に不自由しないためにはどうしても留学は必要なんだから」の部分を実訳するのが正しい。「ここは頑張らなきゃ」には全く具体性がないので不適當。「君の真剣な思いをお母さんにおつけ(る)」は上記下線部の後半を言い換えたものだが、下線部の方が具体的なので、やはり解答としては不適當。「いざとなったら僕がお母さんと話し合っ(て)あげるよ」は「生徒に与えたアドバイス」ではない。

◇表現上のポイント

(1) 「生徒の悩み」 = 「アメリカへ留学したいのだが、母親が反対している」

☆ 「生徒の悩み」という内容はあえて訳出しないでよ

いが、語数が許せば、“The student has a problem: he wants to study in the U.S. but his mother objects.”などと処理しても構わない。

☆ 「アメリカへ留学する」 (go to) study in the U.S.

「アメリカ」は the U.S. / America いずれも可だが、前者は必ず the をつけること。「留学する」は一般的には (go to) study abroad [overseas] だが、ここでは具体的に「アメリカ」とあるのだから、abroad [overseas] をつけると誤りになる。

☆ 「…したい」 want to - / would like to -

【解答例2】のように decide を使った場合、時制は現在完了に限る。

☆ 「反対する」 object / be opposed

いずれも直後に to it をつけても構わないが、【解答例】のように何もつけない方が自然。他に disagree / be against the idea など可。また、【解答例2】のように「許してくれない」と考えて、won't allow [permit] him to としてもよい。

(2) 「母親の主張」 = 「アメリカは誰でも銃が持てる国だから危険である」

☆ 「母親の主張」という部分は【解答例】のように She thinks [believes] (that) ... と表せばよい。She says (that) ... も可。

☆ 「アメリカは危険」 the U.S. is dangerous

書き出しですでに the U.S. [America] は使われているが、繰り返しは一向に差し支えない。むしろ、繰り返しを避けるために it を用いると、何を指しているのかが曖昧になり、かえってよくない。【解答例1・3】では the country / living there など工夫してみた。

☆ 「誰でも銃が持てる」 everyone is allowed [permitted] to possess [own] a gun

「持てる」は【解答例2】のように単に can でもよいが、このように助動詞を用いる場合は主語は anyone の方が好ましくなる。

(3) 「教師が与えたアドバイス」 = 「母親の説得を試みること」

① 「アメリカは母親が思っているほど危険ではない」

② 「英語に不自由しないためには留学が必要」

☆ 「教師が与えたアドバイス」という意味合いは、advise / suggest / say / tell などを使って表現する。「母親の説得を試みる」は try to persuade [convince] his mother that ... など。ただし、persuade / convince 単独だと説得できたことを意味するため、必ず try to - を用いる必要がある。これらを組み合わせた答案例は以下の通り。

・ advise him to try to persuade his mother that

... [解答例 1]

- advise (him) (that) he (should) try to persuade his mother (that) ...
- suggest (that) he (should) try to persuade his mother (that) ... [解答例 2]
- say (to him) (that) he should try to persuade his mother (that) ... [解答例 3]
- tell him (that) he should try to persuade his mother (that) ...

☆「アメリカは母親が思っているほど危険ではない」
the U.S. isn't as dangerous as she thinks [believes]

[解答例 3] のように単に the U.S. isn't so [that / very など] dangerous でもよいことにする。

☆「英語に不自由しないためには留学が必要」
studying there is essential if he wants to have a good command of English

ここはいろいろな英語で書くことができる。「英語に不自由しない」は [解答例 1] では have a good command of という慣用句を使って処理したが、[解答例 2] のように単に learn としてもよい。また [解答例 3] のように「英語の力を上げる」と考えて improve his English としてもよいだろう。

「留学は必要」だが、[解答例 1] のように「アメリカに留学」と考えて study there とするか、[解答例 2・3] のように一般的な留学と考えて study abroad [overseas] としてもよい。「必要」は essential [解答例 1] / necessary [解答例 2] など。

ちなみに [解答例 3] は全体を「留学しなければ英語が上達しない」という趣旨にして he'll never improve his English if he doesn't study overseas とまとめたが、このような解釈も可能である。

2 (B)

14 点)

解答例 1]

A boy is walking in the middle of the road listening to music. A car comes up from behind, and the driver, sounding his horn, shouts him to get out of the way. However, the boy can't hear him at all because he is wearing earphones. (47 words)

解答例 2]

There is a boy walking down the middle of the road listening to music on earphones. Then a car approaches him from behind. The driver

shouts, "Hey, you! Get out of the way!" However, since the boy is wearing earphones, he can't hear him, and just keeps walking.

(48 words)

[解答例 3]

This picture shows a boy walking along the middle of the street listening to music on earphones and a car coming up from behind. The driver honks his horn and tells him to get out of the way, but the boy doesn't hear him and keeps walking. (47 words)

[設問解説]

◇語数について

「40～50語」という語数指定なので、当然この範囲で収まっていなければならない。

◇内容面でのポイント

設問文では「自由に解釈し」とあるが、イラストに描かれている事実を無視した勝手な創作は許されない。それに、この語数の少なさでは話を膨らませるにも限りがあるので、見たままを素直に書くのが最善の策である。

答案に盛り込むべきポイントは次の3つ。

(1) 「男性が(イヤホンで)音楽を聴きながら歩いている」

単に「立っている」という解釈も絶対不可能とは言えないが、道の真ん中で立ち止まっているという状況は普通ではない。また、音符が描かれていることから、「音楽を聴いている」という要素は欠かせない。

(2) 「車が後ろからやってきて、運転手がどなっている」

「後ろからやってくる」ではなく、「後ろに車がいる」という記述でもよい。運転手のセリフは当然「どけ!」だろうが、get out of the way という慣用句を知らなければ、単に「どなっている」あるいは「怒っている」とするのが無難。「クラクションを鳴らしている」という要素は含まれていなくてもよい。

(3) 「男性は(イヤホンをしているから)運転手の言葉が聞こえていない」

「車が後ろにいることに気づいていない」という解釈も可能。「イヤホンをしているから」という要素は含まれていた方がより説得力が出て望ましいが、なくてもよい。

◇書き方のポイント

上記の3点が含まれている必要はあるが、1つのストーリーが出来上がっていれば、その順序は自由。ま

た、[解答例3]のように、イラストのまとめと言えるような英文から書き出すこともできる。

制限だが、このような物語の記述では全編現在形を用いるのが通常。そして物語の導入、つまり物語が始まった時点ですでに発生している事柄は現在進行形で表現する。本問ではポイント(1)の「男性が道の真ん中を歩いている」がこれに相当する。

◇表現上のポイント

(1) 「男性が(イヤホンで)音楽を聴きながら歩いている」
☆ 「男性が歩いている」 A boy is walking in [down / along] the middle of the road [street]

単に A boy is walking では不十分で、場所を表す語句がほしい。walk on a road / walk on the street は「歩道を歩く」つまり歩行者が歩くべき所を歩いているという意味で、後ろから車が来るという状況は不自然なため、英語としてよくないのだが、答案としては認める。

☆ 「音楽を聴きながら」 listening to music

「音楽を聴く」と「道を歩く」は2つの別々の行動ではなく、「音楽を聴きながら歩く」という1つのセットになっている行動。したがって、分詞構文以外では表現できない。

☆ 「イヤホンで」 on earphones

前置詞は on を用いるのが普通だが、over / through など認める。ただし、with は不可。

(2) 「車が後ろからやってきて、運転手がどなっている」

☆ 「車が後ろからやってくる」 A car comes up from behind

A car comes up behind him も可能。また、「後ろに車がいる」と解釈して There is a car behind him でもよい。

☆ 「運転手がどなっている」 The driver shouts at him

「どなる」は shout / yell など。いずれも第1文型の動詞なので、前置詞 at が必要。さらに、shout [yell] at O to o で「Oに-しるとどなる」という意味の語法もある。

☆ 「クラクションを鳴らす」 sound one's horn

「鳴らす」は他に honk / beep など。

☆ 「どけ!」 Get out of the way!

(3) 「男性は(イヤホンをしているから)運転手の言葉が聞こえていない」

☆ 「運転手の言葉が聞こえていない」 the boy can't [doesn't] hear the driver

「車がいることに気づいていない」と解釈するなら、the boy doesn't realize there is a car behind

him とすればよい。

☆ 「イヤホンをしているから」 because he is wearing earphones

英語では「身につけている」場合はすべて wear で表現する。日本語は「はく」「着る」「かぶる」などと動詞を使い分けなければならないため、英語の方がはるかに楽。

◇最後に

かつて東大は自由英作文の設問文に「内容よりも作文能力を問う問題であることに注意せよ」という文言を付け加えていた。この文言は現在では見られないが、採点方針としては生きていると思われる。したがって、この模試でも、内容的におかしくなければ多少英語がメチャクチャでも、という考え方はとらない。むしろ文法・語法的に、構文的に正しい英語が使われていることを重視した、あくまでも「英語の試験」という観点から採点を行う。

3

- | | | | |
|-----|--|-------|-------|
| (A) | (1) ウ | (2) イ | (3) エ |
| | (4) イ | (5) ウ | (各2点) |
| (B) | (1) エ | (2) ウ | (3) ウ |
| | (4) decided to set up an office | | |
| | (5) ア | | (各2点) |
| (C) | (1) To be honest, I didn't even know there was | | |
| | (2) ア | (3) イ | (4) ウ |
| | (5) エ | | (各2点) |

[出典]

(A) Kristine Brown & Susan Hood: *Population Change, Academic Encounters*

(問題作成のためのやむを得ない事情から、省略
改変した箇所があります)

(B)(C) *Original Material*

[放送内容]

それでは、2007年度第1回東大入試実戦模試、問題3、聞き取り問題に入ります。聞き取り問題は(A)(B)(C)の3問あります。

パート(A)は、講義を聞いて、設問に答えるものです。

パート(B)は、ある架空のプレゼンテーションを聞いて、設問に答えるものです。

パート(C)は、パート(B)に続く質疑応答を聞いて、設

(編集注: 付属CDでは、収録時間の都合上、音源は1回ずつとなっております)

問に答えるものです。

パート(A)、パート(B)、パート(C)のいずれも2回繰り返して放送されます。

放送を聞きながらメモを取っても構いませんが、解答はすべて解答用紙の所定欄に記入して下さい。また、この聞き取り問題の放送が終わったあと、解答を続けることも、差し支えありません。

では、始めます。

パート(A)

これから放送される講義を聞いて、設問に答えなさい。講義は2回放送されます。

では、始めます。

Part A

There have been three great population surges in the life of humankind. Each followed a technological revolution that dramatically increased the number of people that the world could support. The first revolution was the invention of tool making, which occurred gradually around the world between a million and 100,000 years ago. The second was the invention of farming, which began at the end of the last ice age, about 10,000 years ago. Agriculture helped the world's population rise from less than 10 million to about 150 million at the time of Christ and 350 million one thousand years ago. Then, in the fourteenth century, the number of people dropped dramatically because of the Black Death—a terrible disease that spread rapidly across Europe and Asia. In Europe it reduced the population by a third. But by the nineteenth century, the third technological revolution, the industrial revolution, had begun in Europe. This latest revolution has continued to spread and has already raised the world's population to around 6 billion, six times what it was at the start of the nineteenth century. This is three times what it was in 1930, and almost twice what it was in 1960. The world's population may reach 10 billion before, as scientists predict, it stabilizes. At present, they think this will occur before the end of the twenty-first century.

Why do scientists predict that the world's population will begin to stabilize? The answer is that they believe that human populations go through different stages and that these are linked to their societies' economic development.

In the first stage, birth and death rates are both

high. This was the stage of the populations in Western Europe in the seventeenth century, before industrialization. In the second stage, there is a fall in death rates, because of improved health care and eating habits, but there is no change in birthrates. Populations in Western Europe entered the second stage after industrialization, but many countries in the developing world are still at this stage. In the third stage, social changes bring about a decline in the birthrate and the death rate, and the population begins to stabilize. Many Western countries reached this stage when they became highly industrialized. The fourth stage—with low birth and death rates—has been reached by a small number of highly industrialized countries today. These countries are approaching zero population growth—a situation where birthrates are lower than death rates.

What are the social changes that can bring about a decline in birthrates? Why do people in many countries of the world have fewer children now than in the past? In Europe, around the start of the twentieth century, population growth rates reached a high point and then began to fall, as people chose to have smaller families and to use modern methods of birth control. This move to smaller families was linked to social changes. In poor rural or farming societies, children were needed to work in the fields and to take care of their parents in old age. However, in the richer urban societies typical of the twentieth century, they were not needed in this way. In fact, children were seen as costly to educate, clothe, and feed—in other words, it was better economics to have a small number of children. Another factor was that as child death rates fell, people became more confident that their children would survive to adulthood. They did not need to have a lot of children to make sure that one or two survived.

これで1回目は終わりです。約1分後に2回目を放送します。

では2回目を放送します。

[英文(A)・繰り返し]

これでパート(A)は終わりです。約1分後にパート(B)を放送します。

ではパート(B)を始めます。

パート(B)

これから放送されるプレゼンテーションを聞いて、設問に答えなさい。プレゼンテーションは2回放送されます。

では、始めます。

Part B

Good morning. My name's Ruth Turner. I'm from the information department of the Ethical Investment Guide Service. Thank you for coming to our presentation. First, let me make a brief introduction of EIGS and after that there'll be time for some questions. That'll give you an opportunity to ask questions about our work.

Let me begin with the history of EIGS. The Ethical Investment Guide Service, EIGS, was founded in 1985 in Boston by a group of people who wanted to base their investment strategy on ethical principles. These people thought they should be investing their wealth in socially responsible companies. They needed a provider of information to help them decide which company to invest in. EIGS was set up to do independent research into companies' performance related to social, environmental and ethical issues.

Our research now covers 30 areas, including companies' attitudes to human rights, animal testing, and environmental protection. We are a non-profit organization and don't investigate companies' finances. We only look into their social, environmental and ethical policies and practices. Over 2000 leading companies worldwide are on our research list, including 60 Japanese companies.

Our headquarters are in Boston. We also have offices in London and Sydney. We currently have 50 staff members in all. Our organization is divided into four departments: research, client services, information, and international relations.

We have more than 100 institutional clients, including banks, pension fund managers, charities and religious institutions across the U.S., Europe and Asia. The clients believe they need information about a company's social, environmental and ethical policies and practices before they make investment decisions. These days the number of clients from Asian countries is increasing, so we've decided to set up an office in Tokyo next year.

We'd like to recruit both new graduates and people with some work experience in other fields. We need staff who can fluently communicate both in English and Japanese and, of course, have an interest in the social responsibility of companies.

I know this type of research organization is still very new in Japan. But I'm sure all of you will agree that the days are gone when companies are allowed to be concerned only with their profits. So we can say the larger a company, the heavier its social responsibility. We are living at a time when even a top company may be ruined if their unethical practices are revealed by the media.

Today many investors are keeping an ethical eye on companies' practices as never before. As their business globalizes, companies are acquiring shareholders from all over the world who have varying interests. We believe we'll have an even greater number of ethical investors in the future and the need for information concerning the ethical aspects of companies is also expanding.

I would like to take this opportunity to invite you to join us in this promising field. I can assure you that it's a worthwhile challenge. Thank you.

これで1回目は終わりです。約1分後に2回目を放送します。

では2回目を放送します。

[英文(B)・繰り返し]

これでパート(B)は終わりです。約1分後にパート(C)を放送します。

ではパート(C)を始めます。

パート(C)

これから放送される質疑応答を聞いて、設問に答えなさい。質疑応答は2回放送されます。

では、始めます。

Part C

Ruth: It's now question and answer time. If you have a question or need a more detailed explanation, feel free to ask. OK, the lady in the second row, please.

Woman: Yes. To be honest, I didn't even know there was this kind of work until I came to this presentation today. EIGS's work seems

very interesting. But I still don't clearly understand how you establish the criteria for judging the ethical aspects of a company's behavior.

Ruth: Well, in our research we cover 30 areas. For example, concerning environmental matters, we look into companies' policies and practices regarding greenhouse gases, pesticides, water pollution and so on. As for the social aspect, we look into their policies on health and safety of their employees. And as for corporate governance, we check any record of involvement in bribery or corruption. We also constantly check our criteria and add new ones as we consider changing social needs and our clients' requests. All right? Any further questions? Ah, the man in the last row, please.

Man ①: Yes. You said you have more than 100 institutional clients. How about individual clients? Do you serve individual investors?

Ruth: Yes, we do. We have a number of individual clients. In some cases we provide tailor-made ethical research according to clients' needs. Some people are more concerned about environmental issues, and others are more concerned about human rights protection.

Man ②: Do you have a list of ethically acceptable companies?

Ruth: No, we don't. We provide objective data based on our criteria, but it is up to our clients to decide which company they should or shouldn't invest in. We don't do a ranking of ethical companies, either. We aren't in a position to say that one company is more ethical than the other.

Woman: After hearing your explanation, I've become even more interested in EIGS. I wonder if all the departments need staff members. And are there any special qualifications required to work in some of the departments?

Ruth: Well, the research department is the core department of EIGS, so we need experts in each field. As for other departments,

we don't require any other qualifications if you have a bachelor's degree. We need additional staff in all departments. We welcome you if you are sincere and positive in your work. If you want to apply for a position, you can download the application form from our web site. Fill in the form and send it back online by the end of this month.

Man ②: Excuse me, may I ask one more question? I'd like to know about working conditions. Could you give us some information regarding salaries, fringe benefits and annual leave?

Ruth: This is certainly very important information. You can see detailed information about working conditions on our web site. Please read it carefully before applying. All right? OK. If there aren't any more questions, we'd like to finish the question and answer time now. Thank you again for coming to our presentation. I'd be glad to see you again at our office.

これで1回目は終わりです。約1分後に2回目を放送します。

では2回目を放送します。

[会話(C)・繰り返し]

これで聞き取り問題の放送は終わりますが、このまま解答を続けても、また他の問題に移っても構いません。

(A)

[全訳]

人類史上、人口の大きな増加は3回ありました。世界が養いきれる人口数を劇的に増大させた技術革新の後に、どれも起こっています。最初の革新は道具の製作を考案したことであり、これは100万年前から10万年前の間に世界の至る所で徐々に起こりました。2つ目は農業を考案したことで、これは約1万年前、第4氷期の最後に始まりました。農耕のおかげで、1千万人未満だった世界の人口はキリストの時代に約1億5千万人に増え、1千年前には3億5千万人になりました。その後14世紀に、ヨーロッパからアジアにあつという間に広がった恐ろしい病気である黒死病のため、人口数は劇的に減少しました。ヨーロッパでは、黒死病のせいで人口は3分の2になったのです。しかしながら19世紀までに、第3

の技術革新である産業革命がヨーロッパで始まりました。この最も新しい革新は今も広がり続けており、このため、19世紀初めの人口数の6倍である約60億人にまで、世界の人口はすでに増加しています。これは1930年の人口数の3倍で、1960年の人口数のほぼ2倍です。世界の人口は100億に達する可能性があります、科学者たちの予測ではその後は安定します。これは21世紀末までに起こるであろうと現在科学者たちは考えています。

なぜ科学者たちは世界の人口が安定し始めると予測しているのでしょうか？世界の人口は異なる段階を経て、またそれらは人間社会の経済的發展と関連していると科学者たちが確信しているというのが、その答えです。

最初の段階では、出生率と死亡率がともに高く、工業化以前の17世紀の西ヨーロッパにおける人口がこの段階でした。第2段階では、医療と食習慣の改善のため、死亡率は低下しますが、出生率には変化はありません。西ヨーロッパの人口は工業化以降に第2段階に入りましたが、世界の発展途上国の多くはいまだにこの段階にあります。第3段階では、社会の変化が出生率と死亡率の低下をもたらし、人口は安定し始めます。西ヨーロッパ諸国の多くは、高度に工業化した時点でこの段階に達しました。出生率も死亡率も低い第4段階に達しているのは、今日高度に工業化した少数の国々です。こうした国々は人口のゼロ成長、すなわち出生率が死亡率を下回る事態に至りつつあります。

出生率の低下をもたらす可能性のある、社会の変化とは何でしょうか？なぜ世界の多くの国の人々は、今日育てる子供の数が以前よりも少ないのでしょうか？ヨーロッパでは、20世紀が始まる頃に人口の増加率が頂点に達し、その後人々が小家族化を選択し、近代的な産児制限方法の利用を決めるとともに、人口の増加率は低下し始めました。この小家族化の動向は、社会の変化と関連していました。貧しい農村・農業社会では、子供たちは畑で作業をしなければならず、また年老いた両親の世話をすることも求められました。しかしながら、20世紀を代表する、豊かな都市社会においては、子供にはこのような必要はありませんでした。いやそれどころか、子供は教育費・服飾費・食費が高くつくものとみなされました。言い換えれば、育てる子供の数が少ない方が経済状態が良くなったのです。もう1つの要因は、子供の死亡率が低下するにつれて、自分の子供は大人になるまで生きながらえると、人々が以前よりも確信するようになったということです。たくさんの子供を育てなくても、1人か2人の子供が生きながらえることが確実に became したのです。

[設問解説]

(1) 「話者によれば、キリストの時代に世界の人口は…だった」

- ア 1千万人未満
- イ 1億人未満
- ウ 約1億5千万人
- エ 約3億5千万人

正解はウ。第1段落第5文 (Agriculture helped ...) に、「農耕のおかげで、1千万人未満だった世界の人口はキリストの時代に約1億5千万人に増えた」と述べられている。

(2) 「話者によれば、世界の人口は…に10億人に達した」

- ア 1400年頃
- イ 1800年頃
- ウ 1900年頃
- エ 1930年頃

正解はイ。第1段落第9文 (This latest revolution has continued ...) の後半に、「19世紀初めの人口数の6倍である約60億人にまで、世界の人口はすでに増加している」と述べられており、19世紀 (1801～) 初めには世界の人口は10億人であったことがわかる。

(3) 「話者は『人口のゼロ成長』という表現を用いているが、これは…である事態を意味している」

- ア 死亡率が上昇しつつある
- イ 出生率が下降している
- ウ 出生率と死亡率がほぼ同じである
- エ 死亡率が出生率より高い

正解はエ。第3段落第8文 (These countries are approaching ...) に、「人口のゼロ成長、すなわち出生率が死亡率を下回る事態」と述べられている。

(4) 「話者によれば、…においては出生率は高いままだが、死亡率は低下する」

- ア 第1段階
- イ 第2段階
- ウ 第3段階
- エ 第4段階

正解はイ。第3段落第3文 (In the second stage, there is ...) に、「第2段階では、医療と食習慣の改善のため、死亡率は低下するが、出生率には変化はない」と述べられている。

(5) 「話者は小家族化の動向と関連している可能性のある、社会の変化をいくつか述べている。話者が触れていない1つの変化とは、…ことである」

- ア 子供の死亡率が低下した
- イ 子供の食費・服飾費・教育費がとても高かった
- ウ 人口の増加率が頂点に達した
- エ 子供は親の仕事を手伝う必要がなかった

正解はウ。第4段落第3文 (In Europe, ...) に、「ヨーロッパでは、20世紀が始まる頃に人口の増加率が頂点に達し、その後人々が小家族化を選択…」とある。つまり、人口の増加率が頂点に達したことは、小家族化の動向とは直接関連してはいない。

アは第4段落第8文 (Another factor was that ...) に、イは第4段落第7文 (In fact, children were seen ...) に、エは第4段落第5文 (In poor rural or farming societies, ...) と第6文 (However, in the richer urban societies ...) に述べられている。

(B)

[全訳]

おはようございます。私は Ethical Investment Guide Service の広報部門から参りました、ルース・ターナーと申します。私どものプレゼンテーションに来ていただいてありがとうございます。最初に EIGS の簡単な紹介をさせていただき、その後で質問のための時間を設けてあります。皆さまが私たちの仕事に関して質問する機会をご提供いたします。

まずはじめに、EIGS の歴史からお話しさせていただきます。Ethical Investment Guide Service, EIGS は、倫理上の原則に基づいて投資戦略を立てたいと考える人々によって、1985年にボストンで設立されました。この人たちは、社会的責任を果たしている企業に自分の財産を投資すべきであると考えたのです。彼らには、どの企業に投資すべきかを決定するのに役立つ情報の提供者が必要でした。EIGS は、社会的、環境的、および倫理的問題に関する企業の業務内容を、独立不偏の立場で調査するために設立されたわけです。

今では、私たちの調査は、人権、動物実験、および環境保護に対する企業の姿勢を含め、30の分野に及んでいます。私たちは非営利団体で、会社の財務状況の調査はいたしません。社会、環境および倫理面での企業の方針と業務慣行だけを調べます。世界中の2000以上の主要企業が私たちの調査リストに載っており、日本の企業も60社含まれています。

私たちの本部はボストンにあります。ロンドンとシドニーにも事務所があります。現在職員は全部で50名おります。私たちの組織は、調査、顧客サービス、広報、および国際関係の4部門に分かれています。

私たちには、銀行、年金運用のファンドマネージャー、慈善団体、宗教団体などを含め、アメリカ、ヨーロッパ、

およびアジアに100以上の団体の依頼元があります。このような依頼団体は、投資の決定をする前に、企業の社会面、環境面、倫理面の方針とその業務慣行に関する情報が必要だと考えているのです。最近アジア諸国からの依頼者の数が増えており、そこで、来年東京にも事務所を設立することを決定しております。

新卒者と、他の分野での職務経験を持つ方と両方を採用したいと私たちは考えています。私たちは、英語、日本語の両方で滑らかなコミュニケーションができ、そして、もちろん企業の社会的責任に関心を持つ職員を必要としています。

このような調査機関が日本ではまだ非常に珍しいものであることは承知しています。しかし、会社が利潤にだけ関心を払ってられる時代は過ぎたということには、ここにいる皆さんが全員同意してくださるだろうと私は確信しております。そこで、会社が大きければ大きいほど、その社会的責任も重いと言えるのです。一流企業といえども、その非倫理的な行為がメディアによって暴かれれば破綻しかねない時代に私たちは生きているのです。

今日ではかつてないほど、多くの投資家が企業の行為に倫理的な目を向けています。会社の事業が国際的になるにつれ、企業は、世界中から様々な利害関係のある株主を持つようになってきました。将来的には、倫理的な投資をする投資家の数はさらに増えるでしょうし、企業の倫理面についての情報に対する需要も高まっていくと、私たちは確信しています。

この機会を利用して、皆さんがこの有望な分野に参加してくださるようにお誘いしたいと思います。これは挑戦する価値のあるものだと思われ、皆さんに保証することができます。ありがとうございました。

[設問解説]

(1) 「ルースによれば、1985年にEIGSを設立した人々の主たる目的は…であった」

- ア 世界の主要企業にもっと社会的責任を果たすように促すこと
- イ 倫理的な投資家の基準にかなうように事業を行う企業の数を増やすこと
- ウ 世界のいくつの主要企業が倫理的に許容できるかを知るために調査をすること
- エ 倫理的な企業を選ぶことができるように、信頼に足るデータを投資家に提供すること

正解はエ。EIGSの沿革についてルースは、「倫理上の原則に基づいて投資戦略を立てたいと考える人々」が、「どの企業に投資すべきかを決定するのに役立つ情報の提供者が必要」であると感じ、「社会的、環境的、および倫理的問題に関する企業の業務内容を、独

立不偏の立場で調査するために」EIGS を設立した、
と言っているので、この目的を最も適切に述べている
のはエである。

(2) 「ルースによれば、EIGS には…がいる」

ア ポストン、ロンドン、シドニーの3つの支部それぞれに50名の職員

イ 4つの部門のそれぞれに50名の職員

ウ 4つの部門で働く50名の職員

エ ポストン、ロンドン、シドニーおよび東京の4つの支部にそれぞれ50名の職員

正解はウ。職員の数についてルースは、「全部で50名」で、50名が「4つの部門に分かれている」と言っているので、ウは発言内容に一致する。

(3) 「ルースによれば、私たちは…時代に生きている」

ア 大企業さえも、事実ではない金融スキャンダルのために崩壊しかねない

イ 投資家は企業の財務について関心がより低くなりつつある

ウ 大きな企業は、その大きさのためになお一層倫理的に事業を行うように期待されている

エ 投資家たちは非常に様々な利害を持っているので、互いに対立しあうことが多い

正解はウ。ルースは、「会社が大きければ大きいほど、その社会的責任も重いと見える」と発言しているので、ウは発言内容に一致する。

ルースは、「メディアによって非倫理的な行為を暴かれれば、一流企業といえども崩壊しかねない」と言っているが、暴かれたことが「事実でないこと」とは言っていないので、アは不可。イの財務状況に関する投資家の関心については言及されていない。また、「様々な利害関心のある株主を持つ」とは言っているが、それによって「互いに対立しあう」とは言っていないので、エも不可である。

(4) 「ルースは次の文のように発言している。あなたに聞こえた言葉をその通り使って空所を埋めなさい」

正解は These days the number of clients from Asian countries is increasing, so we've **decided to set up an office in Tokyo next year.** の太字部分。[放送内容] を参照のこと。

(5) 「ルースによれば、EIGS は…という理由で将来有望である」

ア 倫理的な投資家の数が増えそうである

イ 企業倫理の世界的な基準が確立されるであろう

ウ 彼らは新しい有望な新卒の学生を採用することに自信を持っている

エ 彼らは企業倫理に関する世論を先導することができる

正解はア。ルースは、「倫理的な投資をする投資家の数はさらに増えるでしょうし、企業の倫理面についての情報に対する需要も高まっていく」という発言の後で、プレゼンテーションの参加者に「この有望な分野に参加」するように誘っていることから、アは発言内容に一致している。

(C)

[全訳]

ルース：それでは今から質疑応答の時間となります。ご質問がある方、より詳しい説明が必要な方は、どうぞご遠慮なくお尋ねください。はい、では2列目の女性の方どうぞ。

女性：はい。正直言って、私は今日このプレゼンテーションに来るまで、このような仕事があることさえ知りませんでした。EIGS の仕事はとても面白そうに思われます。けれど、企業の行動の倫理面を判断するための基準をどのように設定するのが、まだよくわからないのですが。

ルース：そうですね。私たちの調査では30の分野を調べます。たとえば、環境問題に関しましては、温室効果ガス、殺虫剤、水質汚染などに関する企業の方針や実際の行為を調べます。社会的な面に関しては、従業員の健康や安全に関する企業の方針を調べます。また、企業統治に関しましては、贈収賄や汚職への関わり方の記録をチェックします。私たちはまた、社会的なニーズの変化や依頼者側の要望を考慮に入れ、常に私たちの基準をチェックし、新しいものを加えます。よろしいですか？ 他にご質問は？ 最後列の男性、どうぞ。

男性①：はい。100以上の団体の依頼元があるとおっしゃいましたね。個人の依頼人はどうなのでしょう？ 個人投資家へのサービスもするのですか？

ルース：はい、いたします。私たちには多くの個人の依頼人がおります。お客様のニーズに応じ、その方に合わせた倫理面の調査を提供する場合があります。環境問題により関心がある方々もいますし、人権擁護により関心をお持ちの方々もいますから。

男性②：あなた方は、倫理的に許容される企業のリストをお持ちですか？

ルース：いいえ、ごいません。私たちは、基準に基づいて客観的なデータを提供しますが、どの企業に投資すべきか、あるいは投資すべきでないかを決定するのは依頼人の方々です。私たちは、倫理的な企業の格付けをすることもありません。私たちは、ある企業が別の企業と比べてより倫理的だ、などと言う立場にはないのです。

女性：ご説明をうかがって、いっそう EIGS に興味を持ちました。すべての部門で職員を求めているのでしょうか。部門によっては、働くのに特別な資格が必要なののでしょうか？

ルース：そうですね。調査部門は EIGS の中核部門ですので、それぞれの分野の専門家を求めています。他の部門については、大学卒の学位をお持ちならば、他に資格は求めません。私たちは全部の部門で職員の補充を必要としています。誠実に仕事に前向きであれば、私たちは皆さんを歓迎いたします。応募されたい方は、私たちのホームページから応募用紙をダウンロードできます。必要事項を入力して、それを今月末までにオンラインで返送してください。

男性②：すみません。もう1つ質問してよろしいですか？ 労働条件について知りたいのですが。給料や付加給付や年休についての情報をいただけますか？

ルース：確かにこれは非常に大事な情報です。労働条件に関する詳細な情報は、私たちのホームページ上で見ることができます。応募される前にどうぞ念入りにお読みください。よろしいですか？では、もしこれ以上ご質問がないようでしたら、質疑応答の時間を終了させていただきたいと思えます。プレゼンテーションに来てくださったことについて、もう一度お礼を申し上げます。私たちの事務所でもお目にかかれればうれしく思います。

【設問解説】

(1) 「女性は次の文のように発言している。あなたに聞こえた言葉をその通り使って空所を埋めなさい」

正解は **To be honest, I didn't even know there was this kind of work until I came to this presentation today.** の太字部分。【放送内容】を参照のこと。

(2) 「ルースによるプレゼンテーションを聞いた後、女性は…」

ア EIGS の仕事に大変興味を持っているようである

イ EIGS の仕事に少々がっかりしているようである
ウ EIGS の調査方法を賞賛しているようである
エ EIGS の企業評価の基準は厳しすぎると思っ
ているようである

正解はア。女性の発言の中に、「EIGSの仕事は面白そうに思われる」という部分があるので、アは発言内容に一致する。

この後、女性は企業評価の基準について発言しているが、「どのように設定するのかよくわからない」と言って詳しい説明を求めており、ウのように「賞賛している」わけでも、エのように「厳しすぎると思っ
ている」わけでもない。また、イのように「EIGSの仕事にがっかりしている」ことをうかがわせる発言もない。

(3) 「ルースによれば…」

ア 個人の依頼人は、団体の依頼人よりも環境問題により多くの関心がある

イ EIGS は依頼人の要望に基づいて個別的な調査をすることもある

ウ 個人の依頼人の数は、団体の依頼人の数よりはるかに多い

エ 個人の依頼人は、環境問題よりも人権問題により多くの関心がある

正解はイ。ルースは「個人の依頼人にもサービスを提供するのか」という、男性①の質問への答えの中で、「個人の依頼人も多数いる」と答えた上で、「お客様のニーズに応じ、その方に合わせた倫理面の調査を提供する場合もある」と言っているため、イは発言内容に一致する。

ルースは、個人の依頼人に関して、「環境問題により関心がある人も、人権擁護により関心を持っている人もいる」と発言しているが、団体の依頼人と個人の依頼人を比較してはいないし、環境問題と人権問題への関心の比重を比較してもいないので、ア、エは不可。また、個人の依頼人の数については具体的な数字を挙げておらず、団体の依頼人の数との比較もしていないので、ウも不可である。

(4) 「ルースによれば、EIGS の仕事は…を含む」

ア 個人の依頼人に、社会的な責任をよりよく果たす企業に投資するように助言すること

イ 投資家の信頼を得るために必要な手段を講じるように企業に提案すること

ウ 社会状況の変化によりその基準を再考して別のものを付け加えること

エ 企業の財務状況に関する情報を依頼人に提供すること

正解はウ。女性の最初の質問に対する回答の中でルースは、「社会的なニーズの変化や依頼者側の要望を考慮に入れ、常に私たちの基準をチェックし、新しいものを加える」と言っているの、ウは発言内容に一致する。

他の選択肢のうち、ア、エについては、「EIGS がしないこと」としてルースの発言の中で明確に否定されている。また、イについてはまったく言及されていない。

(5) 「ルースが『私たちの事務所でまたお目にかかれましょうれしく思います』と言ったとき、彼女は…ということを意味している」

ア もしプレゼンテーションを聞いている人が EIGS の事務所に来れば、さらに情報を得ることができる

イ 自分が、プレゼンテーションを聞いている人に EIGS の職に応募する前に事務所を見てほしいと思っている

ウ 志願者は応募用紙をオンラインで送る代わりに事務所に来ることができる

エ 自分が、ここにいる人の中から EIGS の職に応募する人が出ることを望んでいる

正解はエ。この発言が、プレゼンテーションの参加者にお礼を言った後の締めくくりの発言であることを考えると、参加者に EIGS の求人に応募するように促す趣旨の発言と考えるのが最も自然である。

ルースはこれより1つ前の発言で応募方法の詳細を説明しているが、応募前に事務所を訪ねるように勧める発言はまったくしていないので、アおよびイは不可。また、応募方法としては、「応募用紙をオンラインで送ること」以外の方法は紹介していないので、ウも不可である。

4 (A)

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| (1) with | (2) it | (3) avoid |
| (4) but | (5) don't | (各1点) |

[出典] Barry Schwartz: *The Paradox of Choice*
(問題作成のためのやむを得ない事情から、省略・改変した箇所があります)

[全訳]
反事実的思考を広く研究してきた心理学者たちは、ほとんどの人間はしばしばこのような思考を無意識のうちに行っているわけではないことに気づいている。

ぼうっと朝のコーヒーをすすりながら、もしアメリカでなく南アフリカに生まれていたら、あるいは、もし地球の軌道があと数千マイル太陽の側に寄っていたら、どんな生活を送っていただろうか、などと我々は考えたりしない。むしろ反事実的思考とは、ある不快な出来事、否定的な感情を生み出す出来事の発生によって通常引き起こされるものである。テストで悪い成績をとった、恋愛関係で問題が発生した、愛する人が病気になった、または死亡したなどの経験をきっかけに反事実的思考が生まれる。そして、反事実的思考が発生し始めると、後悔などの否定的な感情をより多く生み、その感情が今度はさらなる反事実的思考を生み、そしてさらにその思考が否定的な感情をより多く引き起こす。たいていの人は反事実的思考がこのような悪循環に深くはまってしまいう前に抑制することができるが、一部の人間、特に臨牀的うつ病にかかっている人などは、下へと落ちていく力を止めることができないかもしれない。

[設問解説]

(1) 正解は **with**。with -ing という表現はなく、ここは with を削除して分詞構文にすればよい。

(2) 正解は **it**。問題文のままですと、it (S) produces (V3) a negative emotion (O) で完全な英文となり、that は接続詞で名詞節ということになる。しかし、something という代名詞の後に名詞節が続いても、英文として成り立たない。it を削除すればこの that 節は something を先行詞とする関係代名詞節となり、意味も通る。

(3) 正解は **avoid**。in response to ... で「…に応じて」という意味の慣用句 (…の部分は名詞)。この表現は to ... を省略して単に in response だけで用いられることもあるが、そうすると「テストで悪い成績をとるなどの経験をしないように、それにに応じて反事実的思考が生み出される」という意味不明な内容となる。

(4) 正解は **but**。この英文中に存在する2つの which 節に注目。最初の which 節は述語動詞が trigger、2番目の which 節は述語動詞が triggers となっていることから、この2つの節の先行詞は同一ではないことがわかる。つまり、but がこの2つを並列しているという解釈は不可能である。but を削除すれば、最初の which は more negative emotions、2番目の which は more counterfactual thinking を先行詞とする関係代名詞節となり、つじつまが合う。

(5) 正解は (1) と和訳する。「反事実的思考がより進歩の前に」では

- (1) あな...
(2) しばしばあなたが言っている彼らは言っている
(3) 他の人...
して細心悲惨な結

[出典] Rog...
to Yes...
(問題改変)

[全訳]
会社や国...
についての...
の実体を伴...
る。相手は感...
景と物の見方...
それはお互...
交渉のこ...
し、悲惨な結...
達しようとする...
ことに心理的...
しれないし、...
けて築かれる...
段階をより...
かもしれない...
気持ち、さ...
ということ...
もより敏感...
一方におい...
挫折感を味...
我はすぐに...
から世界を見...
うこともよ...
らが意図した...
ているとこ

- (5) 正解は **don't**。before は確かに「…しないうちに」と和訳することもあるが、直訳は「…する前」である。「反事実的思考がこの悪しき螺旋を回ってずっと下の方へ進む前に」なら内容が理解できるが、「進まない前に」では意味を成さない。

4 (B)

- (1) あなたも予想不可能だ。 (2点)
 (2) しばしば、彼らはあなたが意図した通りにはあなたが言うことを解釈してくれず、また、彼らが言っているとあなたが理解している通りのことを彼らは言っていないのだ。 (8点)
 (3) 他の人たちを人間らしい反応をしがちな人間として細心の注意を払って扱わないことは、交渉に悲惨な結果をもたらしかねないのである。(5点)

[出典] Roger Fisher and William Ury *et al.*: *Getting to Yes*

(問題作成のためのやむを得ない事情から、省略・改変した箇所があります)

[全訳]

会社や国同士のやりとりでは忘れがちなのだが、交渉についての1つの基本的な事実、交渉相手は「先方」の実体を伴わない代表ではなく、人間だということである。相手は感情、深く根を下ろした価値観、異なった背景と物の見方を持っており、予測しにくいものなのだが、それにお互い様である。

交渉のこうした人間的な側面は、役に立つ場合もあるし、悲惨な結果をもたらす場合もある。苦勞して合意に達しようとする過程は、お互いが満足の行く結果に至ることに心理的に責任を持つとする意識を生み出すかもしれないし、信頼、理解、尊敬、そして友情が時間をかけて築かれる仕事上の関係が、交渉の1つ1つの新しい段階をよりスムーズで、より効率的なものにしてくれるかもしれない。そして、気分がよい状態でいたいと願う気持ち、さらには他の人たちが自分についてどう思うかということについての関心ゆえに、他の交渉者の興味にもより敏感になることがしばしばある。

一方において、人は怒り、失望し、恐怖や敵意を抱き、挫折感を味わい、気分を害する場合もある。人が持つ自我はすぐに脅かされてしまうのだ。人は自分に有利な点から世界を見、自分が感じたものと現実を混同してしまうこともよくある。こちらが言いたいことを相手がこちらが意図したようには解釈してくれず、また相手が言っているとこちらが思っていることを相手は言っていない

い、ということもよくあるのである。誤解が偏見を強化し、それが、悪循環となる反応を生み出す行動につながる可能性があるのだ。考えられる解決策を理性的に探ることは不可能になり、交渉は失敗に終わってしまう。

他の人を、人間らしい反応を示しがちな人間として細心の注意を払って扱わないと、交渉に悲惨な結果をもたらすことにもなり得る。交渉中のどの時点で、他に何をしようとも、準備の段階から交渉後の面倒見に至るまで、「人間という問題に十分な注意を払っているだろうか」と自分自身に問うのは、それだけの価値のあることなのだ。

[設問解説]

- (1) 「あなたも予想不可能なのだ」

So + be 動詞 [または助動詞] + S で「S もそうだ」の意 (例: I was tired, and so were the others. 「私は疲れていたし、他の者もそうだった」) / I speak Italian, and so does she. 「私はイタリア語を話すし、彼女もそうだ」)。問題文の場合、So が They have emotions, ... の部分を受けるとすれば、So do you. となるはず。So are you. となっている以上、So は unpredictable の部分だけを受けていると考える。

- (2)

1. **Often they fail to interpret what you have to say** 「しばしば、彼らはあなたが言うことを解釈しない [解釈できない]」

fail to - は「-しない、できない」の意 (例: He failed to justify his assertion. (彼は主張が当たっていると説明できなかった)。what you have to say は構造上、You have to say something. → what you have to say φ という過程を経て作られたと考えることもできるが (その場合の意味は「あなたが言わなければならないこと」になる)、交渉において絶えず何かを発言する義務があると考えるのは不自然。ここはむしろ、You have something to say. → what you have φ to say と考えるべきところ (この場合は単に what you say と書かれている場合とほぼ同義)。よって、「あなたの言うこと [言いたいこと]」などと処理するのがよい。

2. **in the way you intend** 「あなたが意図するように」 interpret を修飾する副詞句。the way と you の間は関係副詞の省略 (例: This is the way he did it. 「これが彼がそれをした方法だ」 → 「それを彼はこのようにやった」)。
 3. **and do not mean ...** 「そして…を意味 [意図] していない」